



祝 日本遺産認定

有松

NO.81 有松まちづくりの会



◇ミシン絞り

文字通りミシンを使って縫い締める技法です。

使用するミシンは普通のミシンと違い、「S型環縫いミシン」といって下糸がなく、上糸だけで縫うミシンです。

普通のミシンでもできますが、後で糸を解くのが大変です。

解説：竹田 昌弘

有松の未来・夢の基本計画を創ろう

有松まちづくりの会会長

竹田嘉兵衛

本年の5月、有松は日本遺産に認定されました。

3年前重要伝統的建造物群保存地区の選定につぐ大変な快挙です。

重伝建が歴史のある古い立派な建造物群がしっかりと保存されているというハードを中心としたものであるものに対して、日本遺産はその地域に点在する文化財群を、歴史や伝承などを踏まえた物語を加えて総合的に整備活用し、訪れた人に魅力ある町を見ていただくというソフトを中心とした制度です。

有松まちづくりの会では、重伝建選定直後から、服部豊前会長を筆頭に、地元11団体に声を掛け、名古屋市のご指導の下、日本遺産の認定を目指して、推進協議会や視察を重ねてきました。

有松には江戸時代に創造され、以後400年かけて日本人の心をつかんだ紋りが有ります。この紋りは慶長13年（1608年）に有松へ移住した若者が、この農業不毛の地で生きるすべを求めたことからはじまりました。

知恵をしばって手拭いや手綱など紋り製品をつくり上げ、東海道を通行する旅人の土産物として支持されて発展し、やがて尾張徳川家より独占権を与えられました。

その後、志を受けつぐ後継者達が自ら世界に類の無い百数十種類の新技术を開発し尾張の大きな産業をつくり上げました。

そして、紋り産業の生み出した富により、有松を、幕末のイギリスの外交官アーネストサトウをして「私の見た日本の町の中で最も清潔で豊かな感じのする町」と言わしめたのです。

この町が当時生み出した、着物のデザインは街道一の名産と言われつづけてきました。

江戸の後期より明治にかけても、この町の生み出した紋りの姿や町の姿は、広重や北斎の浮世絵に多数取り上げられ、欧米にジャポニズムと言われる大きな衝撃を与えました。そしてそれがアールヌーボーと言われる芸術運動の源泉となり世界を大きく動かしたのです。

紋りは、江戸時代初期より昭和50年代に至る迄、その当時日本最大の産業であった繊維産業と組んで大きな実績を残しました。しかし、その日本の繊維産業が大幅に縮小してしまった今日、新しく取り組むべき相手は観光産業（易経にあるように文化を観るといいう意味で観光という言葉を使います）であると考えています。

他のどこにもない、有松独自の文化が日本遺産として認定されたのです。これを今一度見直し、有松が住む人にとっても訪れる人にとっても、外国の人にとっても魅力的な町として、将来にわたって維持・発展するように、この日本遺産の制度を研究しながら、観光産業と向き合うことが今後の課題です。

皆が将来への夢を語り合い、有松のグランドプランを創り上げ、それを実行して行きたいものです。



日本遺産の認定について

名古屋市長観光文化交流局歴史まちづくり推進室長 黒田 茂

今年の5月20日に、令和元年度日本遺産認定証交付式が行われ、名古屋市が申請した日本遺産ストーリー「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 く藍染が風にゆれる町 有松く」が、全国72件の申請の中から16件の認定のひとつとして見事選ばれました。当日の交付式には、有松まちづくりの会顧問の服部豊氏、副会長の藤枝静次氏にも参列して頂きました。遠路はるばる東京までお越し頂き、まことにありがとうございます。

今回の日本遺産認定の取組は、昨年6月28日に有松まちづくりの会と有松絞商工協同組合の連名で、名古屋市長あてに「日本遺産認定に関する要望書」を提出して頂いたところから正式に動き出しました。申請に向けて、有松まちづくりの会や地元の関係団体と何回も会合を重ね、その後、皆さんもご存じのように申請書類が無事に完成しました。その過程では、申請書類作成に必要なビジョン、ストーリー原案、ストーリーを構成する文化財

の洗い出し、既存事業や日本遺産として実施を希望する事業のリストアップ、書類に掲載する画像の提供等、有松の方に様々なご尽力を頂きました。これらの尽力なくして有松の日本遺産ストーリーの完成は成立しなかったと思います。皆さんのご尽力、まことにありがとうございます。

さて、文化庁は今年度の新規日本遺産認定地域に対する支援事業として、「日本遺産魅力発信推進事業」「観光拠点整備事業（地域文化財総合活用推進事業）」の二つの事業を予定しております。有松では、現在のところ、「日本遺産魅力発信推進事業」として人材育成事業、普及啓発事業、調査研究事業に該当する事業の実施を予定しております。人材育成事業とはボランティア等の人材育成に関する事業、普及啓発事業とは発表会、展覧会、ワークショップ、シンポジウム等の日本遺産を普及啓発するための事業、調査研究事業とは情報発信・普及啓発に必要な調査研究事業と定

義されております。名古屋市役所を中心として構成する有松日本遺産推進協議会では、有松まちづくりの会等の地元協力団体から提案頂いた様々な事業を今年度、文化庁の補助金をもらいながら実施していきます。有松の皆様からのご支援、ご尽力がなければ、これらの事業を真に有松の活性化に資する事業として成立させる事は出来ません。来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向け、訪日外国人旅行者数の増加が見込まれている中、日本遺産の認定は有松の魅力向上に大きな力になると考えております。我々も精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

■有松地区で建築や看板設置等をお考えの方へ
有松伝建地区及び町並み保存地区内で、工事や看板の設置等を行う場合、市へ許可申請・届出の手続きが必要です。

手続き前には、有松町並み相談会で事前相談（意見交換）を行っておりますので、具体的な計画を立てる前のできるだけ早い段階で、まずは町内会長または歴史まちづくり推進室へご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先・歴史まちづくり推進室
(電話) 052-972-2782

令和元年度 有松まちづくりの会総会報告

令和元年度の有松まちづくりの会総会が5月16日(木)有松・鳴海絞会館で、多数の来賓ご臨席のもと開催されました。

竹田嘉兵衛会長は開会の辞で、5月20日に正式に日本遺産の認定を受けることを報告するとともに、「長い間重伝建を目指してやってきて、東海道の無電柱化などで町はきれいになった。これからは、住んでいる人が楽しみ充実できる町にしたい。その子供が有松生まれであることを自慢できる町にしたい」と、今後のまちづくりの目標を語られていました。そして、「若い人11人が役員に入って下さった」と、日本遺産認定に伴う活動の充実のため次世代に期待する思いも話されていました。

日本遺産の認定を受け、新しい時代の幕開けにふさわしい今年度の総会でした。冒頭、竹田会長は服部豊前会長のお人柄に触れ、「日本遺産を取ると決めたら、猪の如くの活躍があった」「全国町並みゼミ名古屋有松大会のテーマ町並みはわたしが守るは服部さんが決めた」ことを紹介されました。日本遺産認定に伴う活動を強力なリーダーシップを

揮って進めていこうとする会長の決意が伝わってきました。

議事は次の通りです。

第1号議案 平成30年度 事業報告並びに収

支決算報告の承認について

第2号議案 令和元年度 事業計画並びに収

支予算案の承認について

第3号議案 役員人事について

それぞれの報告が行われ全会一致で承認されました。

記念講演会

演 題 「有松を訪れた頼山陽」

講 師 頼山陽 ネットワーク会員

山根 兼昭氏

絞会館の前に江戸時代後期の儒者・詩人・歴史家の頼山陽が有松を訪れた際に詠った詩歌の歌碑があります。頼山陽の足跡を研究されている頼山陽ネットワークの山根兼昭さん

をお招きして研鑽を深めました。

お話によると、頼山陽は34歳の1813年、生活の糧を得るべく美濃へ揮毫旅行に出かけ名古屋を訪れたとのこと。その際かねて交友のあった蒔絵師山本春生の妻が有松井桁屋2代目の娘ということから井桁屋に1泊することになったという。その折の感銘などを詠ったものが会館前の歌碑である。

最後に漢詩を朗々と演じて下さいました。

(文・伊藤総俊 写真・福岡友一)



第66回安城七夕まつりに参加し

有松をPR

2019年8月2日(金)と4日(日)の2日間、有松まちづくりの会の会
員により、碧海信用金庫本店前にて「日本遺産認定証」、「重伝建の町
並みのパネル」の掲示と有松のパンフレットの配布及び紹介を行いま
した。さらに、今回は碧信本店入り口に形状記憶の絞りのれんを飾り
ました。



形状記憶の絞りのれん



資料館「大災害を乗り越えて」展を見学



セギ板を使って用水をせき止める様子



令和元年9月2日(月)、有松絞会館バス駐車場に参加者31名が集合し、
7時50分に研修先の「岐阜県郡上八幡」へ出発しました。
途中、長良川SAで休憩し、郡上市歴史資料館に到着。まず、細川
館長さんから「清流と名水の城下町で郡上おどりのふるさとである」
と、郡上八幡の概要をお聞きし、資料館の展示を見学。その後2班に
分かれ、郡上八幡まちなみ観光案内人さんからポケットパークや郡上
八幡城の説明を受けながら、きれいな水の流れる町並みを歩きました。
昼食は「流響の里」にて食べ、午後は各自で町並みの散策や体験など、
自分の研修目的に沿って過ごしました。郡上市歴史資料館を16時前に
出発し関SAで休憩して、有松へは無事18時前に帰りました。
今回の町並み研修から得られたことを、これからの有松のまちづく
りに生かしていただければ幸いです。
(山田修生)

汗かき地藏さん

〜中町地藏堂〜

有松駅から南へ刈谷新道（お天王坂）を上
がると少し奥まって地藏堂があります。区画
整理が始まる前は、お天王坂に面して火の見
やぐらや伊勢大神宮の常夜灯、お天王さまと
並んで地藏堂もありました。この地藏堂の真
ん中にどっしり座っておられるお地藏さん
は伝説があります。

ずいぶん昔のこと、沓掛方面からお坊様に
背負われて有松に来られたとか。間もなくし
てお地藏様が大汗をかいておられるのを不
思議に思っていたところ、町に悪い病が流行し
まして大変でした。町の人達が熱心にお参り
して、おかげさまで大事に至りませんでした。

お地藏さんが大汗をかいて
村人たちを病から救ってく
ださったということです。
とても不思議なお話です。
それからは大汗をかくこ
ともなく優しく座ってお
られます。今も地域の皆様
がしっかりとお世話をして
おられます。

（文・浅野康子

写真・福岡友一）



小路名称看板 設置追加

有松の町並み歩きをさらに楽しく

名古屋市の魅力向上事業の一環として、昨
年5か所（①長坂道、②切通し、③天王坂、
④山与遊歩道、⑤分かれ道）に設置された小
路名称看板が、本年は⑥「川村小路」、⑦「河
竹小路」の2か所増設され、有松東海道から
延びる小路7か所に名称看板が設置されまし
た。

説明書きは、日本語に英語も併記されてい
ます。外国の方も含め有松の町並み歩きをよ
り楽しまれる一助になることと思います。

川村小路

東海道も長坂道を繋ぐ道
絞商川村屋に因んだ名。
天保の村絵図に見られるこの小
路は、石積の水路（暗渠）を横
切り、長坂道に通っています。

Kawamura-Koji

A laneway linking the Tokaido Road to Nagasaka-Michi Trail

This laneway was named after the Shibori fabric wholesale merchant, Kawamuraya. The laneway, which can be seen in an illustrated map of the village from the Tenpo era (1831-1845), crosses a stonework waterway (culvert) before connecting to the Nagasaka-Michi Trail.

河竹小路

町屋の間を抜ける趣のある道
絞商河竹村次郎に因んで名付け
られ、小路の両側には今もその
子孫が住んでいます。
映画「アイコ十六歳」の撮影現
場。小路の中ほどから眺める東
海道は、いにしへの風情。

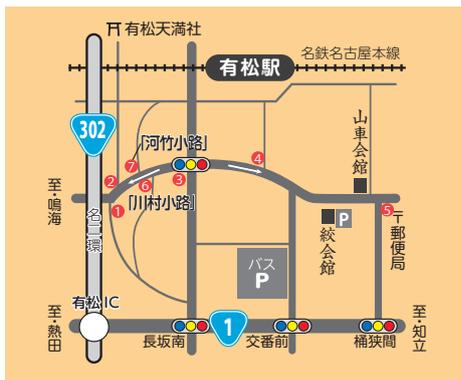
Kawatake-Koji

An atmospheric laneway between machiya

This laneway was named for its connection with the Shibori fabric merchant, Kawamura Takejiro, whose descendants still live on either side of the lane. It was used as the location for the Japanese film, Aiko 16-sai. The Tokaido Road seen from inside Kawatake Koji has an old-world elegance.



河竹小路の名称看板



公益財団法人名古屋まちづくり公社助成事業

有松あないびとの会 町並み歩き

「ふるさとと有松を体感しよう」報告

日時…2019年5月18日(出) 10時〜12時頃

後援…有松学区区政協力委員会、NPO法人

コンソーシアム有松、有松まちづくりの会

会場…有松地内(竹田家住宅の書院及び三番蔵、久田家住宅の茶室、古道長坂道と東海道、ありまつ公園他)

内容…有松あないびとの会の町並み歩き『ふるさとと有松を体感しよう』を2019年5月18日(出)10時〜12時頃開催しました。当日は天気にも恵まれて、(1)古道長坂道と東海道(90分、茶室見学・抹茶体験) 110名、(2)東海道と有松絞り(90分、絞り染め体験) 97名の合計207名の参加者でした。地元有松に住んでいる方や緑区の方はもちろん、緑区以外



の名古屋市内在住の方、そして有松に観光に訪れていた他府県の方、外国人の方も参加くださいました。5月15日の中日新聞朝刊に掲載して頂いたおかげもあり、定員の200名を超える参加者となりました。普段入る事が出来ない岡家や竹田家などの歴史的建造物内で、詳しい説明を聞く事によって、有松の素晴らしい文化を再認識する事が出来ました。久田家での抹茶体験と竹田家での有松絞り染め体験はとても好評で、参加者全員が有松の魅力を満喫されていました。地元の有松の方はもちろんのこと、一般の参加者にも、地域における歴史的建造物の保存と活用的重要性を知っていただく貴重な機会になりました。引き続き、定期的にこうした会を催し、ふるさと有松の意識をもっともっと高めていきたいです。

◆主な来訪者◆

(有松あないびとの会ご案内分)

- ・小布施文化観光協会
- ・鶴舞図書館なびぼらの会
- ・桜花学園大学・名古屋短期大学
- ・八事、杖中歴史研究会
- ・郡山観光協会
- ・岩倉市生涯センター
- ・愛知県断酒連合会
- ・旅人企画・東海道歩き
- ・日産労連エルダー倶楽部
- ・愛知大学国際交流課
- ・椋山女子園大学
- ・金城学院大学
- ・大和郡山市観光協会
- ・町遊びリアル人生ゲームの皆さん

俳句

「秋爽」

諏訪部草童

絞り染め糸抜く音の爽やけしや
星と星囁き合ふて卯建の上



晩秋の有松を楽しむ会 2019 ～時をこえた美しさ～

開催日時：2019年11月9日(土)・10日(日) 10時～16時

有松の歴史ある町並み・町家において、「いけばな」「きもの」「お茶」などの絞りや伝統文化にちなんだ様々な展示・イベント等を実施してきた「晩秋の有松を楽しむ会」は、今年で7回目を迎えます。

今年は、平成から令和へと新たな時代の節目を迎え、また5月には「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ～藍染が風にゆれる町 有松～」として、有松が日本遺産に認定されました。そこで、晩秋の有松を楽しむ会 2019のテーマを【時をこえた美しさ】とし、有松が培ってきた伝統の美しさを感じることができる企画を用意しています。

メインイベントとして、有松絞りが施された十二単の着物を用いて「令和のかぐや姫伝説」と題した着付けショーを開催します。また、東海道沿いの町並みには彩り豊かないけばなの作品が並べられ、着物での散策が楽しく、まさに写真映えする風景となります。そして、町家の中では有松に魅せられたプロミュージシャンによる音楽ライブが行われ、名古屋市文化財に指定されているお茶室では気軽に抹茶をいただくこともできます。

晩秋の有松を楽しむ会を通じて、有松内外の多くの方に町並みや伝統文化の魅力を発見・発信していただき、有松の文化的環境の向上を図り、まちの活性化を目指していきます。

主催：晩秋の有松を楽しむ会実行委員会
お問合せ：<https://armt-autumn.com/>



国土交通省から表彰

国土交通省の「都市計画法・建築基準法制定100周年記念」事業において、長年のまちづくり活動により、都市計画法関係で「国および地方公共団体と協力し、魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった団体」として国土交通大臣から表彰されました。



編集後記

「令和最初」の会報有松81号。有松の「日本遺産」認定をお知らせする嬉しい号となりました。有松のまちを発展させてきた絞りやその技術を中心に町並みや山車、古道やお祭りなど、有松のまちを構成している有形、無形の様々なものが、次の時代へも日本の宝として繋いでいくべきものと評価されたのです。400年の時を超えて受け継がれてきた有松。江戸のそのままに、また時代に即したものとどう繋げて行くのかは、今の私達に委ねられています。迷いはいっぱいですが、先ずは多くの方々にもっと有松を知っていただきたいでしょう。一人一人が熱血有松広報マンになりましょう。
(加藤明美)

企画編集(加藤一成・長塚 啓)

〈有松まちづくり憲章〉

私達は、先人から受け継いだ有松のたからものを守り、次世代に届けるために、この憲章を定めます。

- 一、有松の町並み・絞り・山車を守り、誇ります。
- 一、人と人がつながり、ぬくもりのある有松を創ります。
- 一、有松の歴史や物語を学び、遊び、伝えます。

有松まちづくりの会

二〇一九年九月三十日発行
(年一回発行)

〒458-0924 名古屋市緑区有松三〇一二(有松商工会内)
TEL (052) 62110178
FAX (052) 62217401